

かけ～子ども模擬議会

今年で19回目となる「子ども模擬議会」を、7月4日(金)に市議会本会議場で開催しました。

市内に19ある小学校の代表者が「子ども議員」となり、中川市長ら市執行部に「防災に対する取り組み」、「環境対策」など、日頃の疑問を投げかけました。

今号では、子ども議員の質問と市の答弁の概要を紹介します。また、子ども議員の活躍を取材した「子ども記者」たちもあわせて紹介します。



前半議長：濱口 大地さん(真鍋小学校)

残時間
分

水陸両用バス霞ヶ浦ダックツアーの運営について



土浦小学校：秋川 正佳さん

水陸両用バスは、遠足などに利用できますか。また、12月以降の運行計画について、教えてください。

遠足の行先や内容は、それぞれの学校で考えて決定しているとのことなので、お友達とも相談して、先生に提案してみてもどうでしょうか。冬は大変寒いので11月いっぱい運行となっていますが、来年運行するかどうかは、今年の乗客が多いか少ないか、状況次第となります。ダックツアーは、霞ヶ浦の魅力を多くの人に知ってもらい良いチャンスですので、来年以降も続けて運営してもらえよう応援してください。【五頭副市長】

プラスチックゴミをより有効に活用するために



下高津小学校：沖津 彩乃さん

市ではプラスチックのゴミの分別を行っているのか、教えてください。

市では、容器包装プラスチックの分別収集を来年4月から、市内全域で実施します。

対象になるプラスチック容器は、主にスーパーのレジ袋や肉や魚のトレイ、お菓子、せんべいなどが入っていたプラスチック製の袋などです。

出す際は、汚れを軽く落とし、透明か半透明の袋に入れ、ごみの集積場へ出してください。資源の分別にご協力をお願いします。【五頭副市長】

観光客の集客のための交通整備について



東小学校：成井 美羽さん

観光客を増やすための交通整備について、これまでの取り組みと今後の予定を教えてください。また、観光客集客の視点から「上野東京ライン」を活用した、市の取り組みを教えてください。

市を訪れる人が、亀城公園や桜川に分かりやすく行けるための案内看板設置や、まちなか散策のために駅前通りの快適な歩行者空間整備を行い、さらに、桜川などでの水辺に親しむ空間づくりを進めます。

また、常磐線が東京駅方面へ乗り換えなく行けることとなることから、土浦の観光やイベントをPRし、多くの方が土浦市に来てくれるようにします。

【中川市長】

つくば市との合併について



大岩田小学校：永尾 仁哉さん

合併によって、わたしたちの生活上、どんな良いことがあるか、教えてください。

現在、つくば市と合併したら市民の生活や将来のまちはどうなるか、勉強している最中で、結果を検討して市民の皆さんからお話をお聞きし、合併したらいいかどうか決めていきたいと考えております。

大事なことは、皆さんの生活が豊かで便利になればならないことであり、誇りと自信をもって話せる「日本一の土浦」を目指してまちづくりを進めていきます。【中川市長】

土浦市のゆるキャラについて



上大津東小学校：濱田 真希さん
ゆるキャラを使って、れんこんのような特産物や土浦市の素晴らしさを、アピールすることはできますか。また、ゆるキャラはいつ、どこで活躍しているのか、教えてください。

「つちまる」は「JA土浦れんこんセンター」の看板に登場したり、カレーフェスティバルなどで土浦の魅力をPRしています。キララちゃんは、土浦キララまつりのマスコットとして誕生し、「まちづくり活性化バス」の愛称にもなり、車体に描かれています。つちまるやキララちゃんは、これからも土浦の良い所やいいものをアピールしていきますので、皆さんもつちまるのファンクラブ会員になって土浦を応援してください。【産業部長】

～土浦の将来を担う 子どもたちからの問い



後半議長：小野澤 美風さん(菅谷小学校)

霞ヶ浦のアオコ対策について



上大津西小学校：大塚 瞳さん
霞ヶ浦のアオコの発生量と、その対策について、教えてください。

国や県、市が対策について役割分担を決めています。市では、河川のアオコを船のスクリューを使って散らせたり、機械で取り除く作業を行い、県は、アオコを沈めたり腐ることを抑える装置を設置しています。その他に土浦港では、国が船で回収したり、県でアオコの発生原因のリンを取り除く実験施設を設置しています。引き続き、国、県、市がそれぞれの役割分担のもとに連携しながら対策を講じたいと考えています。【小泉副市長】

土浦市の防災対策について



神立小学校：三輪 絢子さん
東日本大震災では、電気や水道が復旧するまでに時間がかかりましたが、土浦市の防災対策で改善した点を教えてください。

避けることのできない自然災害に備え、被害を最小限に食い止めるため、市ではいろいろな対策をしています。

非常食の保管をはじめ、井戸や貯水槽での断水対策、防災無線など通信設備の整備、橋や道路や学校の強化工事、ほかにも会社や団体などと災害時に協力しあう約束を交わすなど、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。【中川市長】

公園の維持管理と緑化整備計画について



右碓小学校：西岡 歩美さん
整備や管理の行き届いていない公園への調査や修繕について、教えてください。

市には大小さまざまな公園が267箇所あり、定期的な調査については、日々パトロールをして遊具の修繕や樹木の剪定などを行っているところですが、調査が行き届かないところもあることから、公園をよく利用される方からの情報提供を頂くことで、より良い公園の管理をしていきたいと考えております。今後におきましても、安心・安全に楽しく遊ぶような公園づくりをしていきたいと考えています。【都市整備部長】

災害時に自分ができる人助けについて



都和南小学校：小池 里奈さん
災害時に、どのように人助けをすればよいのか。また、小学生ができることを教えてください。

災害時には、自分が無事であって初めて、人を助けることができます。

いろいろな人々が身を寄せる避難所では、全ての人々が共に助け合い、協力し合う共同生活となり、炊き出しや物品の運搬、お年寄りの手助けなど、小学生にも出来ることもたくさんあります。

今後どんなに大きな災害が起こっても、まずは自分の身を自分で守ることが重要です。【総務部長】

お年寄りとのふれあいについて



都和小学校：小池 初果さん

市は、お年寄りと子どものふれあいの場が少ないと思います。お年寄りとのふれあいの場は、どのような方法で出来るのか、教えてください。

市では、各地域の高齢者クラブが中心となり、子どもたちと餅つきや盆踊り大会などを行ったり、毎年10月に開催する子どもまつりでも、昔の遊びを教えています。

中学生になると、高齢者と一緒に介護の仕方を学ぶ「地域介護ヘルパー養成講座」もあります。このように、高齢者とのふれあう場がいろいろありますので積極的に参加してみてください。 【市長公室長】

障害者の方々も参加できるイベントについて



荒川沖小学校：大曾根 涼さん

市では、かすみがうらマラソンの他に、目の見えない方、車イスを使っている方たちが参加できるイベントを企画しているのか、教えてください。

市では、目の見えない方、車イスを使っている方が参加できるイベントとして、障害者(児)スポーツ大会があります。

また、8月の交流キャンプ、1月の新年の集いも恒例のイベントです。その他、音楽イベントや講演会などでは、車イスのまま移動できたり、手話通訳をしてもらうなど、障害者の方々も参加しやすくしています。

【保健福祉部長】

火災予防の指導について



中村小学校：保坂 百合子さん

市ではどのような機会に、どのような火災予防の指導を行っていますか。また消防職員と消防団員の違いについて、教えてください。

消防署では、全国火災予防運動週間中に住宅や事業所への訪問を実施しています。

火災予防の指導は、119番通報・初期消火・避難誘導の訓練などです。消防職員と消防団員の違いは、職員は24時間交替制で消防署に勤務していますが、団員の方たちは、自分の仕事をもちながら災害時は現場に駆け付け活動をしています。

【消防長】

市の知名度アップについて



土浦第二小学校：七野 然さん

茨城県の魅力度が低いのは、よい所を知らない人が多いからだと思います。市では、知名度を上げるために、どのような取り組みを行っているのか、教えてください。

土浦には魅力的な特産物や歴史的な建物など、全国に誇れるものがあります。市では、「つちまる」にイベントに登場してもらい、市に親しみを持ってもらえる活動をしています。

また、観光客を呼び込み、住んでもらう人を増やしてまちを元気にし、故郷を誇りに思う気持ちを持てる「まちのPR方法」を考える、「シティプロモーション」を本年度から進めていきます。 【中川市長】



「見る」



「表現力」



「書く」



「聞く」

子ども模擬議会の取材を体験することに
よって、「見る・聞く・書く・表現力」を
育てることを目的として作られた「子ども
記者クラブ」は、今年で11回目を迎えました。
子ども記者たちは、議員たちの質問や
答弁の様子をカメラに納
めようと奮闘し、しっか
りその内容のメモを取
っていました。



【子ども記者クラブ】

通学路の安全対策について



乙戸小学校：下釜 京太さん
登下校時の交通事故が増加しています。通学路の安全対策について、教えてください。

市では、市内の小学校を毎年2校ずつ順番で通学路の安全点検や危険な箇所を速やかに補修するための定期的なパトロールを実施しています。

また、2年前には通学路の緊急合同点検を行い、危険な箇所の改善をおこなっています。

これからも皆さんが安心して毎日通学できるよう、安全な通学路の確保に努めていきます。

【建設部長】

電子教科書(タブレット端末)の導入について



藤沢小学校：中根 桃子さん
現在、世界各国で学校教育に電子教科書の導入が推進されているようです。市ではどう考えているのか、教えてください。

市では現在7校の小中学校で電子黒板と電子教科書を使っています。今後3年間で全小中学校で使えるよう準備しています。電子教科書には海で漁に取り組む漁師さんの映像などがあり、まるで自分がそこにいるかのような感じのするものです。実際にノートと鉛筆を使って書く学習を大切にしながら、電子黒板と電子教科書を使った授業について先生方も研究を進め、分かりやすい授業ができるよう勉強しています。

【教育部長】

いじめ防止策と内容について



斗利出小学校：平本 凌平さん
いじめに関するニュースをよく聞きます。市の、いじめの対策と防止策について、教えてください。

毎月、学校の様子が報告されてきている中に、友だちの悪口を言ったり、無視をしたりなどの報告がありました。いじめてしまった子に対しては反省を促していじめを繰り返さないように、いじめられた子に対しては安心して学校に通えるよう指導・対応しています。防止策については、日々先生たちが皆さんの様子を見守っており、いじめ防止対策を考えています。大切なのは「いじめは絶対に許さない」という強い意志と「友だちの心がわかる心」を一人ひとりが持つことです。

【教育長】

ランドセルの無料配布の継続について



山ノ荘小学校：萩原 武大さん
小学校入学時のランドセルの無料配布は、これからも続くのか。また、中学校入学時のお祝いには何かあるのか教えてください。

ランドセルの配布は、お父さんお母さんの経済的負担を軽くするため、昭和51年4月に小学校入学のお祝いとして始めました。

次に、中学校入学のときは、入学祝いという形ではなく、小学校卒業の記念品として、卒業生に英語辞書を贈っています。どちらも、市民の方々から続けてほしいとの声もあり、今後も続けていきたいと考えています。

【中川市長】



- ① 飯竹 真美さん (真鍋小学校)
- ② 佐藤 悠さん (斗利出小学校)
- ③ 福田 真菜さん (山ノ荘小学校)
- ④ 白須 彩友美さん (荒川沖小学校)
- ⑤ 塚本 隼太さん (藤沢小学校)
- ⑥ 山口 和輝さん (上天津東小学校)
- ⑦ 高槌 七海さん (土浦小学校)
- ⑧ 森田 美多さん (都和南小学校)
- ⑨ 本橋 伸基さん (中村小学校)
- ⑩ 足田 航さん (菅谷小学校)
- ⑪ 堀越 岳さん (東小学校)
- ⑫ 小澤 麻乃さん (下高津小学校)
- ⑬ 加藤 聖都さん (神立小学校)
- ⑭ 澤田 航太さん (右俣小学校)
- ⑮ 加登谷 未羽さん (大岩田小学校)
- ⑯ 松野 美里彩さん (都和小学校)
- ⑰ 下村 琉偉さん (乙戸小学校)
- ⑱ 飯村 碧さん (土浦第二小学校)
- ⑲ 今井 さくらさん (上天津西小学校)